

会員へのお知らせ

注意！

広島県医師会常任理事 榎坪 毅

広島県国保連合会より、国保連合会職員を名乗り、「暗号化ソフト・ライセンス使用料代金」と称して現金を請求する事案が山梨県で発生したとのことで、本会へ注意喚起の情報提供がありましたのでお知らせいたします。

事務連絡

平成23年12月8日

山梨県国民健康保険団体連合会

本会職員を名乗り「暗号化ソフト・ライセンス使用料代金」と称して 代金を徴収する者への注意について（お知らせ）

平成23年12月8日に県内医療機関から、「領収証書」のとおり山梨県国民健康保険団体連合会経理会計室の林 曾太郎を名乗って医療機関を訪問し、「暗号化ソフト・ライセンス使用料代金」と称して現金を徴収されたとの照会がありました。

本会は、このような名称の部署及び職員は実在せず、又、名目の使用料代金を求めることも、又、医療機関を直接訪問して現金を徴収することはありません。

つきましては、このような行為が発生したことをお知らせ申し上げるとともに、貴会会員が同様の被害に遭われないよう、各会員へお知らせくださいますようお願い申し上げます。

希少疾病用医薬品の指定取消し及び希少疾病用医薬品の指定について

薬食審査発1116第3号

平成23年11月16日

厚生労働省医薬食品局審査管理課長

薬事法（昭和35年法律第145号）第77条の2の4の規定に基づき試験研究等の中止届が提出された下記の希少疾病用医薬品について、同法第77条の2の5の規定に基づき指定が取り消され、また、同法第77条の2第1項の規定に基づき、希少疾病用医薬品が下記のとおり指定されたので、通知する。

記

1. 指定の取消し

指定番号：(20薬) 第211号

医薬品の名称：UMN-0501（組換えインフルエンザHAワクチン（H5N1））

予定される効能、効果又は対象疾病：新型インフルエンザ(H5N1)の予防
申請者の氏名：株式会社UMNファーマ

2. 指 定

- (1) 指定番号：(20薬)第211号
医薬品の名称：ASP7373(組換えインフルエンザHAワクチン(H5N1))
予定される効能、効果又は対象疾病：新型インフルエンザ(H5N1)の予防
申請者の氏名：アステラス製薬株式会社
- (2) 指定番号：(23薬)第255号
医薬品の名称：リルピピリン塩酸塩
予定される効能、効果又は対象疾病：HIV-1感染症
申請者の氏名：ヤンセン ファーマ株式会社
- (3) 指定番号：(23薬)第256号
医薬品の名称：ストレプトゾシン
予定される効能、効果又は対象疾病：膣・消化管神経内分泌腫瘍
申請者の氏名：ノーベルファーマ株式会社
- (4) 指定番号：(23薬)第257号
医薬品の名称：パゾパニブ塩酸塩
予定される効能、効果又は対象疾病：進行性悪性軟部腫瘍
申請者の氏名：グラクソ・スミスクライン株式会社

「使用上の注意」の改訂について

(法安91)

平成23年12月1日

日本医師会常任理事 高杉 敬久

今般、厚生労働省医薬食品局安全対策課より「使用上の注意」の改訂について、日本製薬団体連合会安全性委員会委員長宛て通知した旨、本会宛て連絡がありました。

つきましては、貴会管下会員へのご周知方よろしくお願い致します。

なお、下記URLの医薬品医療機器情報提供ホームページに「使用上の注意の改訂指示」として掲載されておりますことを申し添えます。

記

医薬品医療機器情報提供ホームページ「使用上の注意の改訂指示」URL

http://www.info.pmda.go.jp/kaitei/kaitei_index.html

抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について

(地Ⅲ182)

平成23年11月29日

日本医師会感染症危機管理対策室長 保坂 シゲリ

今般、厚生労働省医政局経済課長、健康局結核感染症課長連名により、各都道府県衛生主管部(局)長に対し、抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等についての通知がなされ、本会に対しても協力量依頼がありました。

本通知は、インフルエンザ患者に対して適切な検査・治療を行うためには、抗インフルエンザウイルス薬及びインフルエンザウイルス抗原検出キットについて、その安定的な供給等を図ることが必要であることから、下記の対応を求めるものです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただき、管下郡市区医師会、関係医療機関等に対し、周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

記

1. 医療機関、薬局(以下「医療機関等」という。)において抗インフルエンザウイルス薬を注文する際には、各医療機関等における在庫量やインフルエンザの流行状況等を踏まえ、真に診療に必要な注文量となるよう配慮すること。
2. 抗インフルエンザウイルス薬の安定的な供給の確保の観点から、今シーズン中は備蓄を目的とする注文は行わないこと。
3. 医療機関等へ一度に大量に抗インフルエンザウイルス薬が納入されると、市場に流通する抗インフルエンザウイルス薬の在庫量に与える影響が大きいことから、診療に支障を来す場合を除いて、卸売販売業者の分割納入に協力すること。
4. 抗インフルエンザウイルス薬の不足が発生した際、都道府県から融通の要請があった場合には積極的に融通に協力すること。
5. 抗インフルエンザウイルス薬の投与に際しては、薬剤の必要性を慎重に検討するなど添付文書に記載されている内容を踏まえ、適正に使用されるよう、徹底されたいこと。
6. インフルエンザウイルス抗原検出キットに用いる咽頭ぬぐい液等を採取する際には、患者の飛沫により医療従事者が感染する可能性が高いとの指摘があることから、十分な感染防御手技を講じられたいこと。
7. 都道府県では担当課(感染症対策、薬務、医務等)が中心となり、抗インフルエンザウイルス薬対策委員会等を設置し、安定供給対策等を協議することになるので、在庫状況等の調査を求められた場合には、積極的に協力すること。

医療時事ニュース (12月8日~12月14日)

- インフルの流行始まる 広島市 12・8 中国
- 広島県内の医療機関 DMAT会議発足へ 災害派遣スムーズに 12・8 中国
- 県立広島病院に救急搬送相次ぐ 妊婦の旅行 油断は禁物 12・8 中国
- JA病院資産 3年借り受け 府中市が説明 12・9 中国
- 「広島版CDC」県が検討委発足 感染症 観測施設拡大を 12・10 朝日
- 原発事故に赤十字は何かができますか? 国際赤十字・赤新月社連盟会長 近衛忠輝さん 12・10 毎日
- 奨励金制度 広島県が創設 広島大の院生医師 中山間地域で貢献 12・10 中国
- 放射線講座に市民ら200人 放影研 健康リスク 高い関心 12・11 産経
- エイズ発症8人 最多ペース 県、検査減少を懸念 12・11 中国
- 黒い雨データ 公開検討 放影研 公表時期明示せず 12・13 読売、朝日、毎日、中国
- 自己心臓で交換弁 広島大病院手術 血栓の防止期待 12・13 中国
- でるた 道しるべ 広島西医療センター循環器科医長 藤原仁 12・13 中国夕刊
- 放影研「黒い雨データ」活用や公開 真剣に検討 12・14 毎日・中国
- 広島国際大 総合リハビリ学部新設へ 医療系大学 原点に回帰 12・14 中国